# 感染症を踏まえた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂

- 昨年末、国は第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂
- 感染症による「地域経済・生活への影響」、「国民の意識・行動変容」といった様々な影響を踏まえ、「感染症が拡大しない地域づくり」に取り組むとともに、DX、地方創生テレワーク、魅力ある大学の創出など、新たな地方創生の取組みを総合的に推進する内容へと改訂

### 経緯

2019 年末

#### 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

・第1期戦略(2015~2019年度)の検証を踏まえ、2024年度までの地方創生の方向性を決定

## 新型コロナウイルス感染症の発生

2020年7月

#### 「まち・ひと・しごと創生基本方針 2020」策定

・感染症の急激な拡大の影響を踏まえ、当面の地方創生の進め方を提示

### 感染症を受けた国民の意識・行動変容

12 月

#### |第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂

・時代の変化を捉えた新しい地方創生の実現に向けた今後の方向性を提示

# 概要

- 〇 感染症による様々な影響
  - 1. 地域経済や生活への影響
    - ・マクロ経済や景況、地域産業への影響
    - ・雇用情勢への影響(失業率の上昇、有効求人倍率の低下)
  - 2. 国民の意識・行動変容
    - ・テレワークの普及と地方への関心の高まり
    - ・地方へのひとの流れ、企業の意識・行動変容



- 「**感染症が拡大しない地域づくり**」に取り組むことが重要
- その上で、地域の経済、社会を活性化させるため、**DX、地方創生テレワーク、魅力ある大学の創出**などの新たな地方創生の取組みを総合的に推進